

お二人の活動内容は？

佐々木：私は有田町の地域おこし協力隊として「空き家の活用」「移住・定住支援」などに取り組みました。現在はNPO法人「灯す屋」で有田をより暮らしやすくするための活動を続けています。私が直接関わったものばかりではありませんが、現在までに15軒ほど空き家の活用に繋げることができました。

大屋：僕は西多久の農産物直売所「幡船の里」を拠点に、伝統野菜「女山大根」のPRや販路拡大をはじめとした活動を行っています。佐々木さんが有田で開かれたイベント「うちやま百貨店」にも出店させていただきました。

西多久の歴史や伝統文化を学びました



佐々木：うちやま百貨店は、有田で店を始めた方が空き店舗オーナーと交流し、関係性を作るきっかけにするマルシェとして始めたものなんです。

大屋：また西多久の子どもたちと一緒に「ぼくらの西多久見聞録」という冊子をつくったことは、僕の活動の中でも印象的でしたね。子どもたちが故郷の魅力を見つけてくれましたし、たくさんの地域の方にも協力していただき、うれしかったです。

思いました。街並み、裏通りも面白いところが多く、最初は町を歩き回ってSNSで発信していました。町外に向けてのつもりでしたが、町内の人からも評判が良かったのは、驚きましたよ。

大屋：僕も、西多久は本当に魅力がある地域だと思います。250年以上の歴史がある女山大根もありますし、地域の人の温かさも感じています。

協力隊の任期中に心がけたことは？

佐々木：どんな取り組みも「地域の人のためになるか」ということは意識していました。それと持続性ですね。大きなイベントを1回やって終わりでは、地域のためにはなりません。

# 地域おこし 協働隊の活動！

～地域おこし 協働隊の活動～

地域を元気に！という想いで活動されている地域おこし協働隊のみなさん。今月有田へ戻られた佐々木さんと、西多久で活動されている福岡出身の大屋さんに対して

いつも地域の仲間と活動しています！



福岡のイベントでも女山大根をPRしました！



大屋 謙太

地域おこし協働隊（多久市西多久町）

佐々木 元康

NPO法人灯す屋代表理事（元有田町地域おこし協働隊）



地域の人たちと一緒に空き家をリノベーション

大屋：僕は外からの目線で意見を言うこと。そして、地域の魅力を活かし、地域の未来につながる取り組みができるよう心がけています。それと、地域おこし協働隊には任期がありますから、理想的なのは佐々木さんのように任期を終えても、その地に定住し活動を続けることだと思います。

佐々木：会社を立ち上げるのなら、任期を終えてからでなく、早めに準備しておいたほうが良いですね。任期が終わると無給になります。特にコンセプトや事業はじっくり考えた

ほうがいいです。また、同じ目標に向かって本気でやれる仲間を見つけることも大事です。

これから続けていきたいことは？

大屋：僕も協働隊としては最後の年になりますが、今後地域の人も巻き込みながら、西多久の魅力をもっと多くの人に知ってもらえるよう活動していきたいです。

佐々木：私はNPO法人を持続させてもって雇用できる組織にしたいです。行政に依存せず、自分たちで稼げるような仕組みをつくって自立したNPOにしていきたいですね。また、「佐賀っておもしろいな」と県外の人に思ってもらえたら最高ですね。

コラム 地域おこし協働隊をサポート



多岐市総合政策課 地域づくり係 よしき まさひさ 吉木 昌久さん

大屋君が就任した当時は、西多久のことは右も左もわからない状態でした。活動しやすいように地域の会合や、農業組合の会議などに連れていき、地域の人たちへの橋渡しを一緒に行っていました。イベントや事業を行うときのアドバイスやサポートだけでなく、何度も大屋君の悩みを聞いたりもしましたね。これから、もっと多久で活動できるよう支援できればと思っています。



大屋謙太さん：福岡県福岡市生まれ。多久の野菜の販路拡大を担うアルバイトをきっかけに、2017年4月から幡船の里を中心に活動する地域おこし協働隊に就任。西多久に根差した様々な活動に取り組んでいる

地域おこし協働隊について詳しくはこちらへ



佐々木さんとの縁で埼玉から移住しました



kasaneオーナー 鈴木 達男さん

あいさ 愛子さん

撮影協力：kasane（有田町）